

常金丸学区(町・地区)まちづくり推進委員会

委員長 高橋 健治

(問合せ先) 0847-57-8135 (常金丸交流館)

事業内容

- (1) 世代間交流事業（8月8日 常金丸交流館 125名参加）
- (2) 小地域三世代交流（通年12自治会 388名参加）
- (3) 小学校低学年地域の人々との交流（通年9回 常金丸小学校 440名参加）
- (4) 三世代交流 グラウンドゴルフ（3月1日 常金丸小学校 104名参加）
- (5) ヤングボランティア研修体験学習（6月12日 常金丸交流館・常金丸小学校 50名参加）
- (6) 福祉関係研修事業（2月14日 常金丸交流館 38名参加）
- (7) 地域交流事業
 - ①もぐもぐ交流会 7月24日・9月24日・11月15日・11月29日
児童93人、先生と交流館、地域の方78人と交流
 - ②ロングロング恵方巻を作ろう 2月1日 37名参加
- (8) 自主防災事業
 - ①防災訓練 10月27日 常金丸小学校 500名参加
 - ②防災視察研修 広島県防災航空センター視察 11月18日 17名参加
 - ③防災講演会 1月23日 42名参加
- (9) 学区夏まつり（8月4日 常金丸小学校 約800名参加）
- (10) 学区ふれあいまつり（11月9、10日 常金丸交流館・常金丸小学校 500名参加）
- (11) ゴミ0プロジェクト（5月18日・7月27日・9月28日・11月9日・3月22日 200名参加）
- (12) 情報誌発行（福祉だより 年6回発行）
- (13) 地域住民対象講演会（10月5日 常金丸小学校体育館 映画上映 150名参加）
- (14) 公衆衛生事業（11月24日 川井谷クリーン作戦 50名参加）
- (15) まちづくり推進委員会運営事業（通年）

成果

世代間交流、三世代交流、地域交流、三世代グラウンドゴルフ、ゴミ0プロジェクト等、地域と児童の交流が同じ建屋になったことでより深い交流ができています。参加者も増加した。

課題

中学校が再編され統合されたことで、スクールバスでの通学となり、地元中学生と連絡やスケジュール調整が難しくなった。

世代間交流（20年以上続いた中学生主体の元につこり笑おう会）の内容を検討の必要性がある。

課題解決にむけて

小学校と同じ建物なので、地域のいろんな世代の方々と児童が自然に世代交流できている。
次年度より、4年生の総合的な学習の福祉体験学習をする中で、福祉を高める会やボランティアの会等と世代間交流事業を計画する。

つねかねランドで『地域交流事業』

2024年4月、常金丸交流館は常金丸小学校と同じ建物の中で開館しました。

その後、その建物の愛称を募集し、「つねかねランド」に決定しました。

その福山市で唯一の複合施設という特徴を生かし、より一層の地域住民と児童との交流ができると考え、2024年度新たに『地域交流事業』を計画しました。

やっとコロナ前のような食を通じての交流もできるようになり、地域住民と児童が一緒に配膳し給食を食べたり、声かけしながら調理する中で、交流ができました。

もぐもぐ交流会

交流館と小学校共用で使える「ふれあいルーム」にて、児童と先生、地域の方々と一緒に配膳し、給食をいただきます。子どもたちには馴染みのあるメニューも地域の方には新鮮で、「どのおかずが好きなの?」「ごはんとパンはどちらが好き?」など会話しながら食事を楽しみました。普段なら完食できない子どもたちも、地域の方に応援され交流会の日は残食なしで先生も驚かされていました。



子ども達に習って全員で配食



児童と地域の方が向き合って昼食

ロングロール恵方巻を作ろう

交流館と職員室をつなぐ長い廊下を利用して、ロング恵方巻を作りました。

食生活改善推進員さんにご協力いただいたことで、スムーズに綺麗な恵方巻が出来ました。

普段あまり交流館行事に参加されない方も参加してくださり「来年もここで会おうね!」

と子どもたちと約束されている姿を見て、多方面での企画が求められていると感じました。



チームに分かれ具材の下準備



